平成20年7月15日発行（毎月1回15日発行）　昭和55年6月16日第三種郵便物認可　第29巻第7号通巻362号

CARBOY

[カーボーイ]
2008
JULY
7

見逃すな！CB HOT NEWS 2連発

アメリカから緊急情報！
ランエボX MR登場

チューニング系のGT300チーム熱烈応援企画
現役スーパーGTマシンの細部を公開

付くように付ける、じゃパーツを活かし切れていない
PRO直伝、こだわりの取り付け法を伝授

JIC・RX-8&山下広一が本領発揮！
MSCチャレンジ Round2

最新サスペンションパーツの作りに迫る!!

「動かすため」の技術と知恵が満載！

http://www.carboy.jp

●リヤウイングはGT500用の横幅を縮めて使用。リヤサイドのカナードとアンダーフィンはISのDTM仕様がモチーフだ。

●フロント部はグリルのみが純正。暫定仕様のためバンパーとフェンダーが一体に。コーナーにカナードも追加される予定だ。

photo——山手良樹
report——鈴木悦夫

富士スピードウェイで開催されたスーパーGT第3戦で、ウワサのマシン、「レクサスIS350」が待望のデビュー。その中身は、フォーミュラ・ニッポン用の3ℓV8エンジンをミッドシップに搭載したスーパーマシンだった。

レーシングプロジェクトバンドウといえば、セリカを長年にわたり走らせていたが、スーパーGTという激戦レースでは明らかな戦闘力不足を感じていた。

そこで次期マシンの製作が持ち上がったが、その最終候補に残ったのがレクサスIS350。

ただ、もう1台IS350で参戦を予定しているチームタケウチとマサとで相談した結果、FRレイアウトではなく、ミッドシップで勝負したいということに。メーカーと交渉の結果OKが出て、エンジンもなんとフォーミュラ・ニッポン用の3ℓV8まで使えることになった。

ミッションは、インディでも使われているXトラック製6速シーケンシャルを採用。フォーミュラ・ニッポン用のRV8Jは、600馬力以上を発生するが、リストリクターで300馬力に抑えてある。だが1万回転まで使えて、好燃費なのも大きな武器になる。

エンジンなどの重量物をセンターに配置するために、ドライバー前方のバルクヘッドが延長されて、ペダル類はフロントタイヤの内側の位置まで移動された。

スタイリングは、フロントはGT500、リヤはトヨタが発表したISのDTM仕様のいいとこ取りの独自アレンジ。迫力満点のフォルム。

ガンバレ! チューニング系チーム!! 現役スーパーGTマシンに迫る■パート1

No.19 チーム監督 坂東正敬 ドライバー 織戸 学/阿部 翼

Weds Sport Racing Team with BANDOH

Weds Sport IS350 2008Ver.

●Bピラーより後ろはパイプフレームで剛性を確保。センターに見えるカーボン製の箱がエアボックスで、ルーフから空気を導入する。

●かなり前寄りのドライビングポジション。シートはおなじみのブリッド製。ステアリングには各種情報が表示され、スイッチで選択できる。

●フロントにエンジンはない。2本のホースは、グリルから外気を導入するコックピット用冷却ダクト。ショックはオーリンズ。

●リヤのミッション部にフレームが伸ばされ、サスペンション類を接続。牽引フック上にはバックモニター用のカメラが装着される。

●センターコンソールにはレース中の後方確認用バックモニターを設置。全色が前後に動かして変速するシーケンシャルシフトレバー。

●3ℓV8のRV8Jを搭載。1万回転までOK。ピークパワーを別にすれば、ひとつのギヤのカバー範囲が広がるのがメリット。

●フロントはエンドレス製モノブロックの6ポットプレーキャリパーを採用。ローターはセリカと同様に前後エンドレス製。

●リヤはAP製のキャリパーを採用。フェンダーにも熱対策のためにエアアウトレットが設けられ、その後方にはカナードが配置。

●フォーミュラ・ニッポンと同じにエキゾーストを装着。今はロアアームの下を通るが、熱などの問題上レイアウト変更も検討中。

Weds Sport IS350 2008Ver.■Spec.
ベース車両　レクサスIS350

車両形式	GSE21	
全長×全幅×全高		4575㎜×1895㎜×1290㎜
車両重量		1150kg
ホイールベース		2730㎜
エンジン形式		RV8J
エンジン仕様		水冷V型8気筒
排気量		2997.6cc
リストリクター		24.8㎜×2
最高出力		300馬力以上
オイル		モービル
トランスミッション		X-trac製6速シーケンシャル
クラッチ		AP製トリプルプレート
サスペンション	：フロント	ダブルウイッシュボーン　プッシュロッド
	：リヤ	ダブルウイッシュボーン　プッシュロッド
ブレーキ	：フロント	ベンチレーテッドディスク　エンドレス製6ポット
	：リヤ	ベンチレーテッドディスク　AP製4ポット
タイヤ	：フロント	ヨコハマ　280/710R18
	：リヤ	ヨコハマ　280/710R18
ホイール		ウエッズスポーツ製マグネシウム鍛造18インチ

1万円でWeds Sports IS350 2008Ver.を応援!
プリクラスポンサー大募集!!

自分の写真がIS350に張られる……そんなことが可能です！　坂東商会のプリクラスポンサー係に、住所と名前を書いてプリクラ4枚を送ると爆走坂東組ステッカー（非売品）が代引き1万円で届くという仕組み。ちなみにCBもひとクチ乗りました。

取材協力
坂東商会
http://www.bandohracing.com

●フロントアンダー部。左が前方で曲線を描いてフラットボトムに続く。下部はリヤまでカーボン製のフラットなフロアで構成。

●ホイールはウエッズ製鍛造マグ。バルブキャップがゴム製なのは、接触や振動などで折れるのを防ぐためと実戦ならではの配慮。

フロントとリヤセクションはパイプフレームで剛性が確保され、それにカウルが装着される本格的なレーシングマシンに仕上がっている。

ただ、製作期間は非常に短かったので、少しでも早く仕上がるようにエアロ、バンパー、フラットボトムなど、各パーツの製作をバラバラのファクトリーに依頼。各パーツの到着を待ちながらのマシン製作。

結局、すべてのパーツがそろったのはレースウイークに入ってから。この時点ではまだバラバラだ。

1日2、3時間しか寝られない状況が続いて木曜日に完成。練習日の金曜日にサーキットに持ち込まれてシェイクダウン。

「チーム全員200%頑張ってくれた。テストもタイヤチョイスもセッティングも未完成での状態でした。それでもスーパーラップに残り、決勝でポイントも取れたのにはとても満足」と語るマサ。

表彰台の中央に立てるポテンシャルを持つISだけに、さらなる織戸&マサコンビの活躍に注目だ！

織戸&坂東マサコンビがすべてを懸けたGT300チャンピオン狙いの最新マシン